

フィン・ブレンド（毎月分配型）

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第151期（決算日2025年10月8日） 第152期（決算日2025年11月10日） 第153期（決算日2025年12月8日）
第154期（決算日2026年1月8日） 第155期（決算日2026年2月9日） 第156期（決算日2026年3月9日）

作成対象期間（2025年9月9日～2026年3月9日）

第156期末（2026年3月9日）	
基準価額	9,861円
純資産総額	42,479百万円
第151期～第156期	
騰落率	11.8%
分配金（税込み）合計	150円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィン・ブレンド（毎月分配型）」は、2026年3月9日に第156期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<641928>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

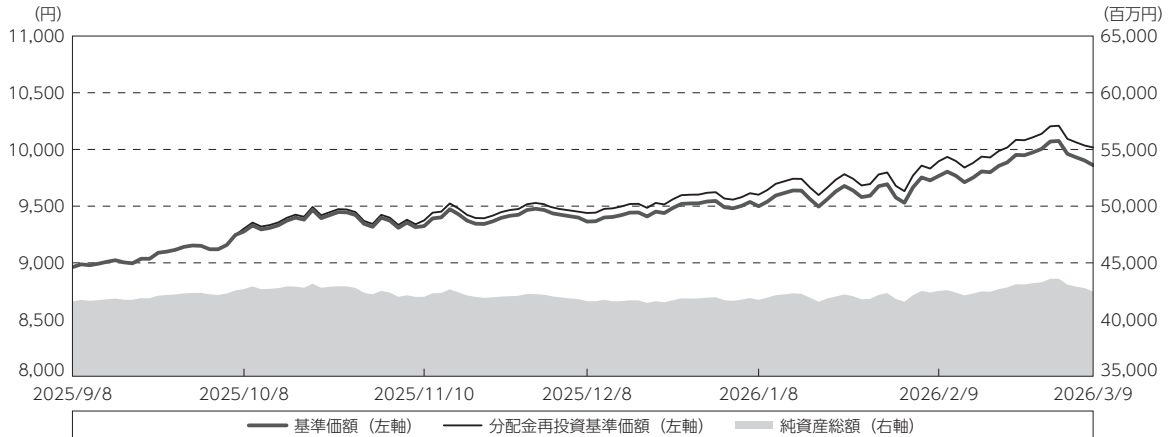
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年9月9日～2026年3月9日）



第151期首：8,962円

第156期末：9,861円（既払分配金（税込み）：150円）

騰落率：11.8%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年9月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう5つの投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、各資産の基準価額への影響度合いが、5資産の間で概ね均等になるような資産配分戦略（ファイン・ブレンド戦略）を用いて、基準価額が、特定の資産から受ける影響を抑えることをめざしています。期間末における各資産の組入比率および当作成期間における投資対象先ファンドの騰落率は以下の通りです。

資 産	投資対象先ファンド	組入比率	騰落率
日本国債	日本超長期国債マザーファンド	36.3%	△4.2%
高金利海外債券	高利回りソブリン債券インデックスファンド	16.6%	8.2%
グローバル高配当株式	グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	16.6%	18.0%
グローバルREIT	グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）	14.1%	15.0%
金	ゴールド・マザーファンド	11.0%	53.1%

<値上がり要因>

- ・「高利回りソブリン債券インデックスファンド」、「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」、「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」、「ゴールド・マザーファンド」の基準価額が値上がりしたこと。

<値下がり要因>

- ・「日本超長期国債マザーファンド」の基準価額が値下がりしたこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年9月9日～2026年3月9日)

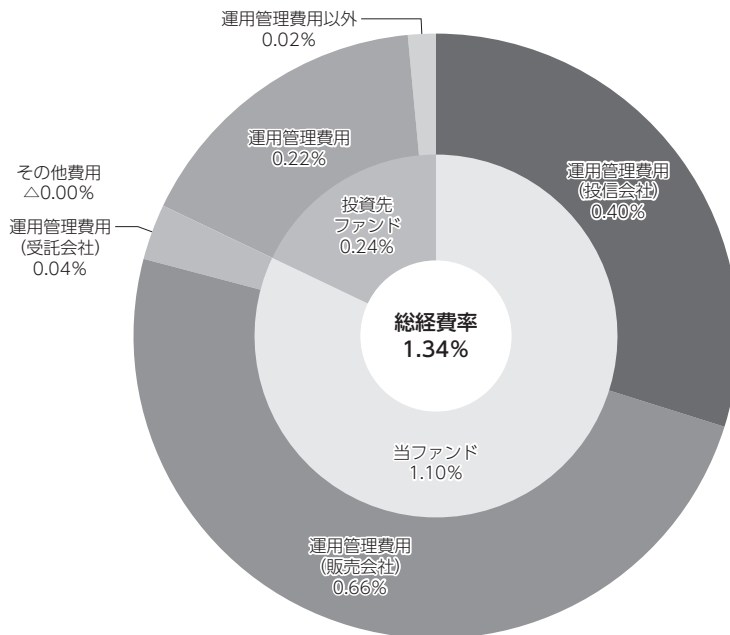
項 目	第151期～第156期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	52	0.548	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.197)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(31)	(0.329)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	△ 0	△0.001	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(△ 0)	(△0.004)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	52	0.547	
作成期間の平均基準価額は、9,536円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.34%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.34
①当ファンドの費用の比率	1.10
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「其他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「其他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

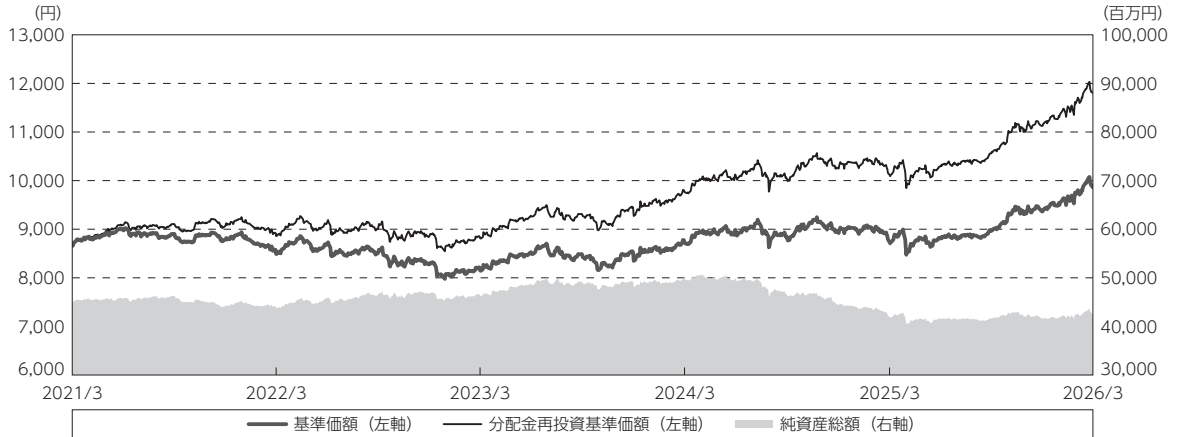
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年3月8日～2026年3月9日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年3月8日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年3月8日 決算日	2022年3月8日 決算日	2023年3月8日 決算日	2024年3月8日 決算日	2025年3月10日 決算日	2026年3月9日 決算日
基準価額 (円)	8,655	8,490	8,153	8,718	8,734	9,861
期間分配金合計(税込み) (円)	—	375	300	300	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.3	△ 0.5	10.8	3.6	16.7
純資産総額 (百万円)	44,880	43,695	46,287	49,679	41,924	42,479

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2025年9月9日～2026年3月9日）

（市況）

日本国債市場は下落しました。期間の初めから2025年10月にかけては、日銀の利上げ動向や米国の経済情勢などを睨みながら比較的狭い範囲を上下する動きとなりましたが、その後、11月から2026年1月中旬にかけて、日銀による利上げや政権与党の動向による財政悪化懸念が悪材料視され、ほぼ一本調子で国債売りが続きました。その後、衆院選の結果を受け過度な財政悪化懸念が和らいだことや、主要先進国における長期金利低下が波及し、日本国債も買いが優勢となったことから期間末にかけて下げ幅を縮めました。

高金利海外債券市場は上昇しました。海外先進国債券市場では、期間の前半においては米国の雇用情勢悪化や先進諸国での利下げが買い材料視されたものの、根強いインフレへの警戒感から上値が重い展開が続きました。その後も引き続き長期的なインフレ懸念への警戒感は続きましたが、グリーンランドや中東をめぐる地政学リスクの高まりを背景に概ね堅調に推移しました。一方、新興国債券市場は、メキシコなど利下げが継続した新興諸国においては概ね堅調に推移しましたが、韓国市場では利下げ期待が後退し債券売りが優勢になるなど、国や地域によってはまちまちの展開となりました。

グローバル高配当株式市場は上昇しました。米中通商摩擦の再燃や、人工知能（AI）関連の過剰投資や需要後退への懸念が意識され、株式が一時的に売られる局面もありましたが、米国を中心とした堅調な経済指標や企業の堅調決算などが好材料となり、期間を通してほぼ右肩上がりで上昇を続けました。

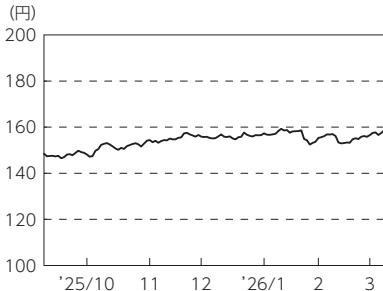
グローバルREIT市場は上昇しました。期間の初めから年末にかけては主要国の金融当局による金融政策の動向をにらみながら一進一退でほぼ横ばいで推移しました。その後、翌年に入ると、先進国における長期金利低下や、米国におけるトランプ関税に対する違憲判決などが好感され堅調に推移しました。

金市場は上昇しました。2025年10月下旬や2026年1月末など、利益確定売りが膨らみ大きく下落する場面も見られましたが、期間を通してみれば、米金融当局による複数回の利下げから金利のつかない金の魅力が増したことで、グリーンランドやイランなどを巡る地政学リスクの高まりから安全資産である金の魅力が増したことなどの好材料を背景に、期間を通して継続的に金市場へ資金が流入しました。

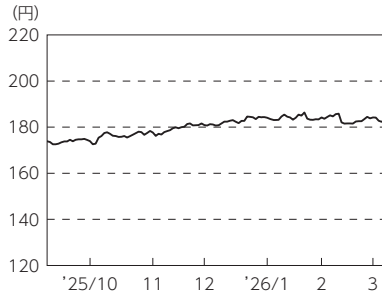
（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

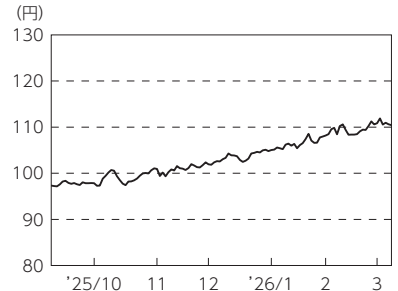
円／アメリカドルの推移



円／ユーロの推移



円／オーストラリアドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2025年9月9日～2026年3月9日）

（当ファンド）

ファイン・ブレンド戦略に基づき、投資対象とする各資産の基準価額への影響度が均等となることをめざして、毎月末の株式市場、債券市場、為替市場、R E I T市場、金市場のボラティリティ（価格変動性）および相関関係の状況を勘案して配分比率を決定しました。配分比率は、日本国債が33%～41%、他の4資産は概ね9%～22%の範囲で推移しました。

当該期間における実績リスクへの各資産の寄与度（基準価額の変動率への影響度）は、日本国債が48%と高め、グローバルR E I Tが18%、金、グローバル高配当株式、高金利海外債券がそれぞれ15%、10%、9%と低めになり、寄与度が一部資産へ偏りました。ただし、ファイン・ブレンド設定時点（2013年3月）からの寄与度については、各資産とも18%～23%の間に概ね収まっており、ファイン・ブレンド戦略は功を奏しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年9月9日～2026年3月9日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

（2025年9月9日～2026年3月9日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2025年9月9日～ 2025年10月8日	2025年10月9日～ 2025年11月10日	2025年11月11日～ 2025年12月8日	2025年12月9日～ 2026年1月8日	2026年1月9日～ 2026年2月9日	2026年2月10日～ 2026年3月9日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	0.269%	0.267%	0.266%	0.262%	0.255%	0.253%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,859	2,865	2,869	2,876	2,885	2,892

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率は異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、投資対象先ファンドを通じて、5つの資産へ分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。各資産への配分については、フィン・ブレンド戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、各資産間の相関性なども考慮して、各資産の基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分を決定する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

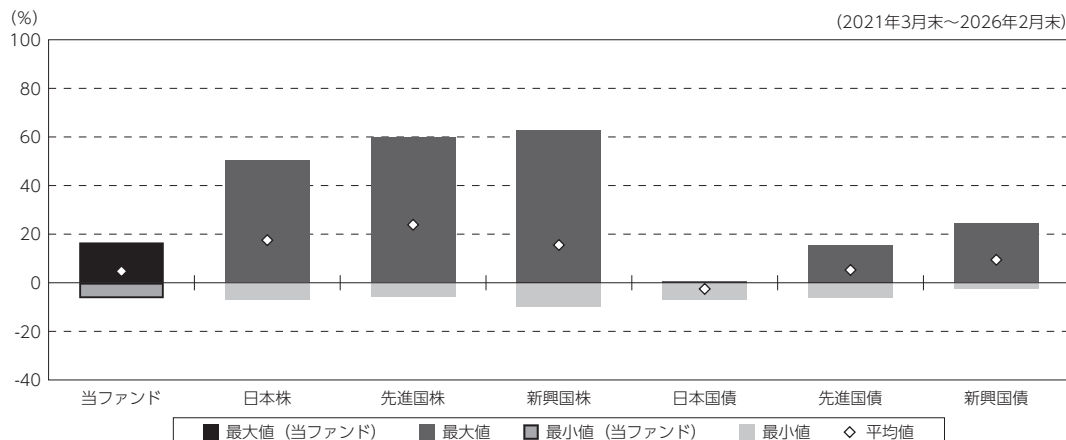
2025年9月9日から2026年3月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2013年3月25日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「日本超長期国債マザーファンド」受益証券 「高利回りソブリン債券インデックスファンド」受益証券 「グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス」受益証券 「グローバル・リアルエステート・ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 「ゴールド・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。各資産への配分については、フィン・ブレンド戦略に基づき、各資産のリスク水準に加え、相関性なども考慮し、基準価額の影響度が均等となることをめざして、資産配分比率を決定し、定期的に見直します。
分配方針	毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。なお、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	16.6	50.5	59.8	62.7	0.6	15.3	24.5
最小値	△ 6.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	4.7	17.5	23.9	15.5	△ 2.5	5.3	9.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年3月から2026年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2026年3月9日現在）

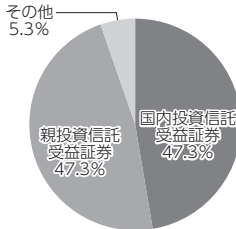
○組入上位ファンド

銘柄名	第156期末
	%
日本超長期国債マザーファンド	36.3
グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス	16.6
高利回りソブリン債券インデックスファンド	16.6
その他	25.1
組入銘柄数	5銘柄

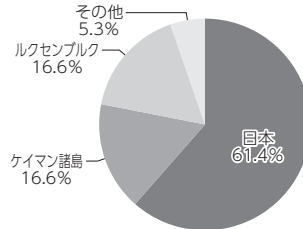
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

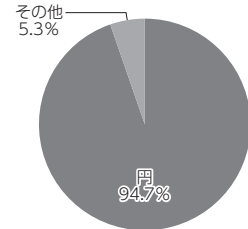
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2025年10月8日	2025年11月10日	2025年12月8日	2026年1月8日	2026年2月9日	2026年3月9日
純資産総額	42,684,475,621円	42,003,428,802円	41,616,131,568円	41,733,723,382円	42,523,778,743円	42,479,763,110円
受益権総口数	46,011,970,057口	45,050,417,661口	44,440,954,202口	43,933,328,442口	43,541,691,038口	43,078,393,742口
1万口当たり基準価額	9,277円	9,324円	9,364円	9,499円	9,766円	9,861円

（注）当作成期間（第151期～第156期）中における追加設定元本額は1,311,781,601円、同解約元本額は4,628,765,729円です。

組入上位ファンドの概要

日本超長期国債マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年3月11日～2026年3月9日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年3月11日～2026年3月9日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2026年3月9日現在)

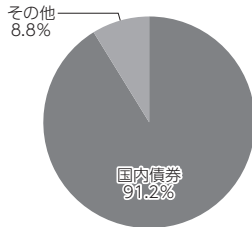
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	第80回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	3.5%
2	第186回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.0%
3	第81回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	2.9%
4	第187回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.9%
5	第185回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.8%
6	第175回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.7%
7	第174回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.7%
8	第178回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.7%
9	第179回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.6%
10	第82回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	2.6%
組入銘柄数			45銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

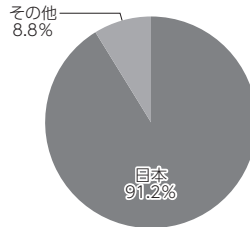
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

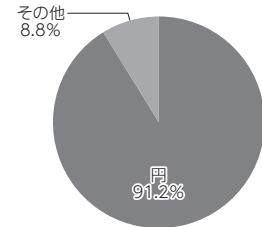
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

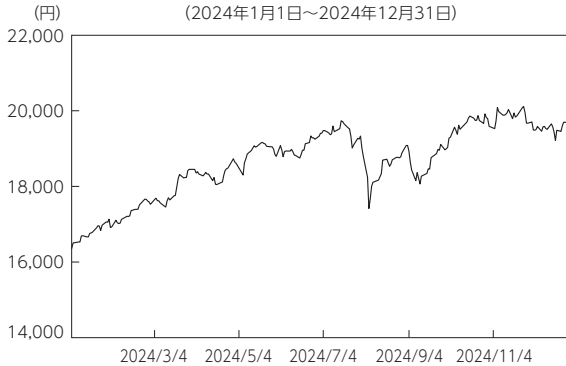
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・ハイインカム・エクイティ・ファンド アンヘッジド・クラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万円当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

当該期間の1万円当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

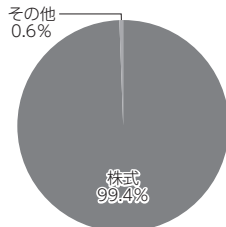
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	Coca-Cola Co.	株式	アメリカドル	米国	3.5
2	Merck & Co Inc.	株式	アメリカドル	米国	2.6
3	Home Depot Inc	株式	アメリカドル	米国	2.6
4	Philip Morris International Inc.	株式	アメリカドル	米国	2.5
5	Verizon Communications Inc.	株式	アメリカドル	米国	2.4
6	Pfizer Inc.	株式	アメリカドル	米国	2.1
7	Amgen Inc.	株式	アメリカドル	米国	2.0
8	Abbvie Inc.	株式	アメリカドル	米国	1.8
9	Total Energies SE	株式	ユーロ	フランス	1.8
10	Comcast Corp	株式	アメリカドル	米国	1.7
	組入銘柄数		109銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

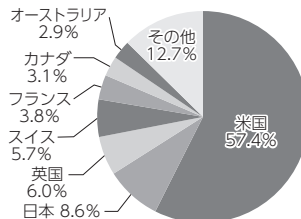
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

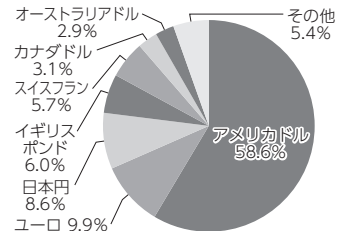
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



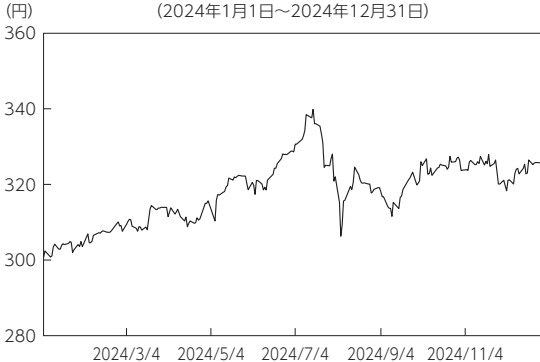
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

高利回りソブリン債券インデックスファンド

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】



(2024年1月1日～2024年12月31日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

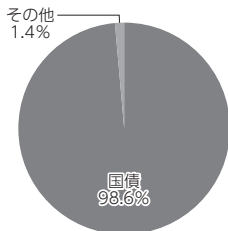
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	MEXICAN BONOS 5.75% 15-05/03/2026	国債	メキシコペソ	メキシコ	2.1
2	KOREA TRSY BD 1.5% 20-10/03/2050 FLAT	国債	韓国ウォン	韓国	1.0
3	MEXICAN BONOS 5.5% 21-04/03/2027	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.9
4	MEXICAN BONOS 7.5% 07-03/06/2027	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.9
5	MEXICAN BONOS 7.75% 11-29/05/2031	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.9
6	MEXICAN BONOS 8.5% 09-31/05/2029	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.8
7	CANADA-GOVT 1.25% 19-01/06/2030	国債	カナダドル	カナダ	0.8
8	UK TREASURY 4.25% 10-07/12/2040	国債	英ポンド	英国	0.8
9	MEXICAN BONOS 8.5% 23-01/03/2029	国債	メキシコペソ	メキシコ	0.7
10	UK TSY GILT 1.625% 18-22/10/2028	国債	英ポンド	英国	0.7
	組入銘柄数		362銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

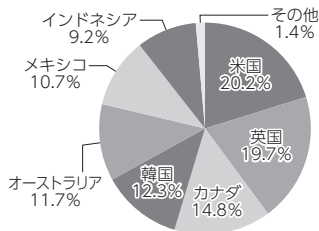
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

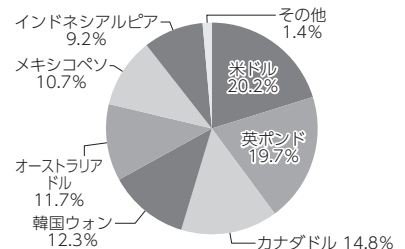
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。